



- A. 空から見た福岡市
- B. 小戸ヨットハーバー
- C. マリノアシティ
- D. 舞鶴公園
- E. 博多灯明ウォッチング
写真提供:博多まちづくり協議会事務局
- F. 姪浜漁港の朝市
- G. 能古島より志賀島を望む
- H. 西中島橋からの那珂川
- I. 大濠公園
- J. 福岡市博物館
- K. 博多祇園山笠
- L. ベイサイドプレイス
- M. 友泉亭公園
- N. 今山から市街地を望む
- O. シーサイドももち

O	A					B
N						C
M						D
L						E
K	J	I	H	G	F	



さいと
「彩」はかがやき、「都」は都市の意。
人がかがやき、まちがかがやき、都市が彩られていく。
そんな都市・福岡のイメージを表す。

特集 水が彩る都市 ふくおか 1

第18回 福岡市都市景観賞受賞作品 7

第8回 福岡市景観エッセー 12

都市景観室事業・編集後記 14

特集

水が彩る 都市 ふくおか



飛行機が福岡空港へ着陸態勢を取るとき、博多湾が実に優しい水面であることが、手に取るようにわかります。志賀島から海の中道、能古の島を両腕に見立てると、「海に抱かれる商都く福岡」がイメージされます。

海に開かれたまちづくりの取り組みは、1980年代からのシーサイドももちのマリン、砂浜や松林の復活などを皮切りに、ふ頭の再開発によるベイサイドプレイスなどが進められ、今では、確実に日常生活の一部となっています。

潤いや癒しをもたらす優しさ、人を寄せつけない激しさ。水辺は、常に穏やかな表情ではなく、時には波立ち、うねり、荒々しい表情も見せます。

今回は博多湾や那珂川から、日常生活に点在する風景まで、福岡の街に存在する様々な「水の表情」を特集してみました。